三十

孟子

九月十日始ヨリ
八月暑ニ至

雲房

特別
へ5
6581
30

へ5
6581
30

九月十一日

晴天今暁雲散迄　午時過今霽照

無月名月過に前にも記能乃己ノ刻より照敷に生ㇾ少しも也

出候ニの風申ノ刻中頃ニ許様ニ刻

奉駒形社納

題四季　柳　妙涼　月　定ゞ　催

影秋宿　岸光

輕風

高判

新ほつすれ風に靡くも也　折柳

早稲田文庫

< 98 - 45 >

風に縒れ雨にこそ梅柳の絲

青柳すゝ静に雨のふる夕

青柳に詠まれし右のたゞ

雨の柳梅も似合ふ事の糸

湖みえの清くし屋形さの風情かな

雨ふる筆にかゝりし柳の影

枝山や柳の松の影

柳青く緑に裏に定りぬ女

涼しさや神生の杜の杜の風

あつしさよ風情の音一雨すゞ音

涼しさや月に鐘さて起る音

暑しさや庭の石の竹の露

芋蕗や片側町の夕涼

旅羽織脱くやたゝむの夕涼

すゞしさや浅瀬の中の流る安

船漕ぐ川に人送る柳すゞしの夜

夕涼し菖蒲咲たる辺かな
初秋の顔に縁に涼ミの端
秋ゝの吹めし風や夕すゞみ
涼しきや風のさわく小松原
名月や流れて見ゆるすゞみ
名月の松よりさし州の色
名月や流れ出ての和らぐ白
雲晴て月のかゝる月の光の旅

花露も置かぬ月見への頃
二日月や出て入りし秋の空
東まつの流の浪や海の風
松風の音の三日月の月の風
名月や寝覚めしし蜂蝶
秋かぜや葉の上や軒の雨
朝顔も虫の声する空哉
柳のあいに流れし空の雁

雪の中よりさきしゆの斜
都になりてさへかさし出る
されをもし古梅の葉乃末の習ひ
此仰の孤節よめる宿の南
膝をいれ得ぬの風さそふ飛
蘆辺のあ梅いとし宿のか
花と見中清き宿の内
香ぞしりも薫りけるはるさかり

飽くみる所也叩う宿のの跡
宿をとい人越るれば渡の門
帆あらし雪ゆ中より鎖雲
来梅めらあしとへる宿のうち
森金かる所男川なれむれ
味便の舗火乞川邊れ

右

春梅も深く梅二月なる帆情れ

蘆かみ聲よう　柳井し柳に
風情あり五月柳なれ勝みなり
涼しけや雨後の松風の月
世節乃座さもようや夕けるか
月なる出次隙より漏る風情し
長領り一五粒え人廣乃月
緑葉なる之もとつし小の月
新まし比乃余風なる寂

川船の勝氣くしふるさるの趣
京出初りし年卯子雲乃さるか
右
菜花り雲乃一再なるるか
麓之し讀なる歌なる仙
右

右歌合九句勝六十五吟

高判

伊勢町二明堂

萩ちるや花ちる庭すゝき細
ちる迄はうつらぬ秋ぞ萩の露
おち人に露ちりてや秋の色
え秋に色露深川紅葉かな
稲秋や二ヶ月計り望の事
すゝき秋の夕ぐれ乱れけり
萩の花露ちらしてや心知
名月や人のたのみを我の楓

月乃夜や二ヶ間かゝる銅の槌
一銭を捨るも月の光かな
穴ぐりの怨も出まへのみね
三日月はなを月の欄かな
名月や庭にこぼれて千ゝ万里之
見渡しの松のかけ蟻律
淡路の鐘の下ゆへ月見や焼香
さらしな姨の中　ふる郷のまま

判ニ加筆ハ峰ゟ錦繡
無蘆入月影しらずして生
紛んと花か居枝乃花紅
かく細けし芝与千生紅らゝの家
地り紛し分り千色つ山や錦紅
その中乃ふ秋は落る紅ゝの松
松於枝楼伸ろ床乃たゑせぬ
列し飛りあり秋や床乃行末

庵崎やし常寿り西乃修類ゝ
床崎や紅広く峯乃ゝの山
床ゆゝぬ庵ゆゝゝ分けし山家か

右

る紅し秋乃色ちら山離れ
入日かり秋は影を移りゝふ
色秋は居ありの家飛山か
松かえの中特や月のそふ紅

右

宮内省

宮内省

高野

上野井左衛門

右

宮内省

高野

右

右

今ゝ初氣ゝ毋ゝ情ゝ

右

冥加なる　百姓

高利

乾吉田水位

秋分切ゝ西ゝ吟味ゝ

秋分ゝ雨ゝ

秋分ゝ杉ゝ脂

秋分ゝ軒端ゝ雫ゝ

秋分ゝ水量ゝ

第九ゝ遠方ゝ秋過

下山ゝ雨ゝ

秋分ゝ吟味ゝ

秋分ゝ切ゝ程

秋分ゝ吟味ゝ人数ゝ

手切ゝ

秋分ゝ一日ゝ

秋分ゝ作物ゝ一貫位

蕎麦ゝ秋分ゝ

秋分ゝ二毛ゝ程ゝ

穐風の気をく吹や　新来垣
葉もり白く吹あらしの紅
紅葉ちりそめて又吹をる三五夜　秋
華やかな菊の節句をたのしむ　白
錦紅や散るだに　結川え
南くなほしかうつる月かく　月ん小
花月や明けて鐘の身の　なこ
蛙鳴の嘉兵衛の吹く芳の春

春乃音や　鶯く鳴来の巡り口
新ら東し(ル)　東の森がり　春乃声
梅か枝く　御寺の邸や　春の声
春ちりや　糸操りの手　軒に鳴
古郷や　鉢芹く吹　春乃声
春さむし　花乃都中　北山雪之
蕾のさくや　春の節　北き床福田
咲きかれし　春の音　蛙し　小東風

右

古郷ぞ恋しく成りぬ秋の風
萩に松虫の声かゝみけり
露もかゝる露はかなし命の色
萩もれ花の葉も萩こそけり
露ぬれ念いそ東のたてしかな
萩やいゝさみ月さゆ露だけし
草の葉の露を露結ぶ聲の秋
月は七夕の淵をしみて鳴く　其

覚て萩の声にかなしき声新
虫啼や松に露あり夕景色
一人の外なる秋の夜淋しき

右

覚え白露の秋の風涼し
萩はあるなれ地は鳴く九月哉
露露や鐘の秋の音深き
念佛操る袈裟の袖や虫の聲

[illegible]

石

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十二日 雨 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

奉納宮納

[illegible]

右[illegible]

[illegible]

[illegible]

大和屋茂三郎といへる人の家に泊る明日早く
とゝまりて出羽の酒田をさして最上川の舟に乗り渡る
きよく折から風荒くして船頓て打まかしむ又此国の薬をのみて
難なく舟に乗り移りてこそ力を尽くして下りて其所へ出
ることを得たり○出羽千代か舟にて過きて◎伊勢参宮の郷
なりける人々に立隠れ老を妨ぬ○桂子と云ふ人新庄宗匠を
訪ひて○鳥海山見えて伊勢参宮の帰り日数を重ね
州都にて大本代経に尋し知より綾州村郷にて終りしとか上古也

雨晴るゝ朝けの村嶋眉山すら室の道ゆき興にのほるの
登りて宮へ入つゝ緑ともなり

嫦娥山

夜すゝしくてありたうかゝや嫦娥の月　眉山

石

新しき法の師にまとふ所のものを纏ひとくゝるに所の伊勢参宮し
又高田を経

旦暮　古曽部

白雪庵

伊勢織部那経

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

石

石

長谷川二郎兵衛　両付

右

隅田川

樹々うるほひ夕べの雨　両付

本郷の門前の雨　馬場

右

引き切り切り長谷川はあり捨てと切り○雨降なり

長谷川長谷川九郎兵衛の小屋にて

○長谷川長谷川九郎兵衛

乃ち長谷川の邸内にあり一江戸中と山あり

門前下谷の新屋敷にて高い山あり○大屋久助

御屋敷にて○平塚屋の家にて陽うり陽うりて

陽うり切り

○

川中島の図

占積平　右

馬場

十三目

文亀元年　秋冬　至十秋冬

[illegible]

第四相続之事

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

高判

[illegible]

[illegible]

人近く居申候ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

笑雪ハいかゝ書ん
歟樽のゝ[illegible]ハ
為知ハ[illegible]ハ
解ハ[illegible]ハ
為知ハ[illegible]ハ

右

[illegible]
[illegible]

右

[illegible]ハ
山[illegible]ハ
[illegible]ハ
[illegible]ハ

右

一筆[illegible]

右

[illegible]

[illegible]

[illegible]

右

文素

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

高利

[illegible]

右

[illegible]

右

[illegible]

[illegible]

右

[illegible]

[illegible]

十五日　晴天　八つ時より大雨

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十六日　快晴　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

今

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible] 仰ら此五定連 加
[illegible] 之
[illegible] 橋軒も加盛 〃
仰[illegible]川[illegible]見[illegible] 加

右

仝

[illegible]
[illegible]
[illegible]

全

[illegible]

[illegible]

[illegible]

右

十七日 大雪

此夜子
刻中頃

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

右

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]